

1 部

学習サポート

各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

- ・学年暦→p. 4～5 ・通信教育部カレンダー→2024年度版 p. 7～9
- ・演習・実習科目関連締切等
- 社福→p. 25～28 精保→p. 29～30

2024年4月以降の変更・留意点

●科目修了試験の日程変更（青森会場）

『試験・スクーリング情報ブック2024』 p. 34より下記のとおり変更いたします。

・第3回科目修了試験 青森会場

変更前：9月8日(日)9：45～→変更後：9月7日(土)13：30～

4月以降のTFUオンデマンド上の「web履修状況票」の閲覧について

これまでTFUオンデマンド上で公開しておりました「web履修状況票」について、新ポータルサイトでの公開準備のため4月よりご利用いただけません。

履修状況については4月より偶数月に履修状況票を郵送にて送付することでお知らせいたしますのでご確認ください。

公開の準備が整い次第、ポータルサイトでの公開とさせていただきます。

皆様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い致します。

2024年度以降のレポートに関する変更点

●レポート提出台紙の記入について

レポート提出台紙について、評価・指導票欄に記載されている年齢・職業欄について、通信教育部事務室内で再検討しました結果、今後は未記入での提出をお願いいたします。(再掲)

なお、2024年度ご入学者・購入者については、年齢・職業欄の記載のないレポート提出台紙を順次お配りしております。

●氏名バーコードシールについて

毎年、年度初めに学生の皆様に配付しておりました氏名バーコードシールは、2024年度より配付をしておりません。論述式レポート等をご提出される際は、貼付なしにてご提出いただいて構わないものになりました。

●客観式レポートについて

2020年度以前のご入学者に限り、今まで特例の対応としておりました紙面でのご提出については、2024年度までの対応であり、2025年度以降は廃止となります。解答方法については、「TFUオンデマンド」上での解答のみとなりますこと、予めご了承ください。

各地の地震による被害を受けられた方へ

「令和6年能登半島地震」および4月17日に豊後水道の地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災された方々が1日も早く通常の生活に戻れますことを、心より祈念いたしております。

通信教育部の教材・副教材に損傷を受けた方は、無料で再交付いたしますので、お申し出ください。その他、被災された方で配慮を希望する方は通信教育部までご相談ください。

迷子になりながら歩きまわるのも 面白いという話

教員 MESSAGE

通信教育部 副部長・准教授 佐藤 俊人

ご入学、そして進学おめでとうございます。

みなさんが東北福祉大学の通信教育部で学んでいる目的は様々だと思えますが、目的地に向かって少しずつ進んでいる最中なのだろうと推察します。学生生活において迷子にならないことが一番ですが、万が一迷いそうになった時は、教職員一同一緒に寄り添いながら一緒に目的地を探していきたいと思っていますので、遠慮なく目的地探索の旅に誘ってください。

さて、今、皆さんが座っている場所……日本全国に散らばっていますが……から見て、最寄りのJR駅がどちらの方向にあるか指をさしてみてください。沖縄県の方はゆいレールの最寄り駅や一番近い空港でも構いません。おそらく「指をさせた」のではないのでしょうか。今見えていないものの方向を指させたということは、頭の中にきちんと目的地の場所のイメージができており、それによって目的地の方向を見定めることができたからです。このように、目的地がはっきりしていると、人生においても迷子になることはありませんね……え？ ちょ……まって……！

「おいしいお店の場所はここ📍」のように地図が載っているようなリーフレットを思い浮かべてみましょう。地図で場所が明示されていますので、目的地ははっきりしています。そうであれば迷うことはないはずですが、それでも迷うことがあります。「えっ？ 今自分はこの地図の中のどこに、どっちに向かって立ってるんだ??」と、自分の現在地がはっきりしない場合です。おなかもすいていると思いますので、とてもイライラしますね。目的地だけではなく、現在地もはっきり自覚していないと道に迷ってしまうという例です。そういう意味では、自分の現在地を△マーク

で示してくれるスマホのナビアプリやカーナビはとてありがたいですね。私の人生にもナビがあればいいんですが、残念ながら私の人生にはナビも△マークも見当たりません……。

では、△マークが無くとも現在地を自覚できるということはどういうことでしょうか。誰だって、自分の家から急に目隠しされてどこかに連れていかれ、どこかで解放されたとしても、その場所がどこかはすぐには理解できません。どこが出发点で、どのような経路を通して今ここにいるのかわかって初めて、ようやく現在地が把握できます。これまでの道のりがわかっているからこそ現在地がわかり、現在地がはっきりしているから、目的地への方向が明確になるわけです。人生における道のりとは、これまで自分で考えたり、迷ったり、悩んだり、困ったり、苦しんだり、決心したりしてきた経験・歴史の全てです。このように、皆さんがこれまでどんなことを考えて通信教育で学んでいるのか、という道のりを忘れず、卒業したあと何をを目指すかという目的地を見失わない学生生活にいただければ、それが最善かもしれません。

しかし、大学生活は昔も今も迷子が当たり前です。現在地がわからなくなったり、目的地がわからなくなったり……、そして乗ろうとしていた飛行機が欠航になった……みたいなことの連続です。そのような時は、出发点に戻ってもいいし、ただウロウロ歩き回ってみるのもいいし、誰かに相談したり、みんなが行く方向について行ってみるのもいいと思います。仮に目的地がわからなくなったとしても、何となく歩き続けているうちに、きっと「別のおいしい店」が見つかるはずですよ。ナビに目的地を設定しながらも、ナビを悩ませるくらい寄り道をしながら、その時に行ってみたいと思った方向に自由に進んでみてください。高齢者福祉に関する研究が子育てに応用できたり、心理学の研究が営業の現場に応用できたり、いろいろ「別のおいしい店」が見つかると思います。そうなれば、もう最初に設

定したナビのルート案内は中止させて大丈夫だと思います。

そして、学生生活の最後にたどり着いたところが、当初の目的地どおり
かもしれませんし、迷った挙句にたまたまたどり着いた「別のおいしい
店」かもしれません。しかし、どちらであったとしてもそれは次のステッ
プへのみなさんの「道のり」となり、「次の現在地」を教えてくれるはず
です。